

当公社アンケートによる県内経済

全産業

県内経済の動き7月調査
製造業生産高底堅いが、
全体の営業利益率は
やや落ち込む

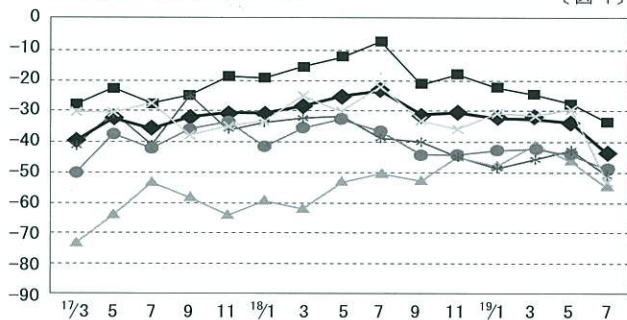
前年同月比については、業況D I値は-43.8で前回の5月調査に比べ9.4ポイントのマイナスとなり全業種下降傾向となっている(図1)。生産・販売高(完成工事高)D I値は-30.7でこちらも前回より1.5ポイントのマイナスとなっている(表1)。業種別の生産・販売高(完成工事高)D I値を前回と比較すると、製造業及び若干ではあるが小売業でプラスとなったものの、それ以外の業種では下降傾向を示し、中でも卸売業の機械器具や玩具、日用雑貨などのその他商品の減少割合が大きく、前回良化を示した建設業でも内装工事やガラス工事などの種別工事で下降傾向となっている。

3ヶ月先見通しについては、業況D I値が-25.0で前回に比べ0.8ポイントのプラス、生産・販売高(完成工事高)D I値は-12.2で8.8ポイントのマイナス見通しとなっている(表2)。業種別の生産・販売高(完成工事高)D I値を前回と比較すると、サービス業以外の業種で下降傾向の見通しであり、特に卸売業の食品や建設業の種別工事においては大幅に下降する見通しとなっている。

営業利益率は、前年同月比で-44.3と前回に比べ7.4ポイントのマイナス、3ヶ月先見通しでは-30.0と4.5ポイントのマイナスとなっており、資金繰りについては前年同月比-26.6で2.8ポイントのマイナス、3ヶ月先見通しでは-27.8で4.8ポイントのマイナスとなっている。

〈業況D I値の推移(前年同月比)〉

〔図1〕



〔表1〕

| 全産業の主要項目 (前年同月比) | | | | |
|------------------|-------|--------|-------|-------|
| | 業況 | 生産・販売高 | 営業利益 | 資金繰 |
| 今回(7月) | -43.8 | -30.7 | -44.3 | -26.6 |
| 前回(5月) | -34.4 | -29.2 | -36.9 | -23.8 |
| 前回比 | -9.4 | -1.5 | -7.4 | -2.8 |

〔表2〕

| 全産業の主要項目 (3ヶ月先見通し) | | | | |
|--------------------|-------|--------|-------|-------|
| | 業況 | 生産・販売高 | 営業利益 | 資金繰 |
| 今回(7月) | -25.0 | -12.2 | -30.0 | -27.8 |
| 前回(5月) | -25.8 | -3.4 | -25.5 | -23.0 |
| 前回比 | 0.8 | -8.8 | -4.5 | -4.8 |

製造業

製造業全体の前年同月比では、業況D I値は-34.1で前回に比べ6.5ポイントのマイナス、生産・販売高D I値は-22.7で前回に比べ5.0ポイントのプラスとなっている。また、3ヶ月先の見通しでは、業況D I値は-11.0で8.3ポイントのプラス、生産・販売高D I値は-1.0で5.2ポイントのマイナスとなっている。

業種別の業況では、前年同月比で上昇が6業種、下降が8業種となっている。生産高では、前年同月比で前回と比較すると化学石油、鉄鋼、窯業土石製品で上昇幅が大きい、3ヶ月先見通しでは下降する見通しとなっており、前年同月比で下降とした非鉄金属や紙製品、一般機械器具、織物では今後上昇する見通しとなっている。

業況(前年同月比)

〔表3〕

| | 食品 | 織物 | 繊維 | 木材製 | 家具備 | 紙製 | 出版 | 化学 | 窯業 | 鉄鋼 | 非鉄 | 金属 | 一般 | 電気 | 輸送 | 精密 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 今(7月) | -25.0 | -44.4 | 20.0 | -66.7 | -25.0 | -83.3 | -58.3 | 0.0 | -78.6 | -10.0 | 50.0 | -63.2 | -28.6 | -27.6 | 0.0 | 0.0 |
| 前(5月) | -12.5 | -20.0 | -28.6 | -46.2 | -33.3 | -50.0 | -28.6 | -50.0 | -53.8 | -37.5 | 40.0 | -41.2 | -28.6 | -39.3 | 11.1 | 0.0 |
| 前回比 | ▲12.5 | ▲24.4 | 48.6 | ▲20.5 | 8.3 | ▲33.3 | ▲29.7 | 50.0 | ▲24.8 | 27.5 | 10.0 | ▲22.0 | 0.0 | 11.7 | ▲11.1 | 0.0 |

生産高(前年同月比)

〔表4〕

| | 食品 | 織物 | 繊維 | 木材製 | 家具備 | 紙製 | 出版 | 化学 | 窯業 | 鉄鋼 | 非鉄 | 金属 | 一般 | 電気 | 輸送 | 精密 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 今(7月) | -2.3 | -44.4 | 20.0 | -55.6 | 50.0 | -66.7 | -50.0 | 0.0 | -21.4 | 20.0 | 0.0 | -52.6 | -47.6 | -34.5 | 11.1 | 25.0 |
| 前(5月) | -20.0 | -20.0 | -14.3 | -53.8 | -33.3 | -33.3 | -28.6 | -100.0 | -61.5 | -37.5 | 40.0 | -35.3 | -19.0 | -39.3 | 11.1 | 33.3 |
| 前回比 | 17.7 | ▲24.4 | 34.3 | ▲1.8 | 83.3 | ▲33.4 | ▲21.4 | 100.0 | 40.1 | 57.5 | ▲40.0 | ▲17.3 | ▲28.6 | 4.8 | 0.0 | ▲8.3 |

(注1) 各業種の数値はD I値にて表示している。D Iは「好転」、「変わらず」、「悪化」の問いに対し、「好転」と答えた%から「悪化」と答えた%を引いた値。

降傾向となっている。

3ヶ月先の見通しについては、業況DI値は-36.4で1.9ポイントのプラス、売上高DI値は-21.2で6.1ポイントのマイナスの見通しとなっている。業種別に見ると、百貨店・スーパーは上昇傾向の見通しであるが、自動車や飲食店では前回に比べ下降傾向の見通しとなっている。〔表7〕

| | 業況 前年同月比 | 売上高 前年同月比 | 業況 3ヶ月先 | 売上高 3ヶ月先 |
|----|-------------|--------------|------------|-------------|
| 7月 | -51.6 | -36.4 | -36.4 | -21.2 |
| 5月 | -42.5 | -37.0 | -38.3 | -15.1 |
| 3月 | -44.5 | -40.3 | -48.6 | -19.4 |

サービス業

前年同月比の業況DI値は-49.1で前回に比べ6.2ポイントのマイナス、売上高DI値も-33.4で6.9ポイントのマイナスとなっている。業種別に見ると、クリーニングにおいては前回に比べ回復する傾向となっているものの、ホテル・旅館では更に厳しい状況となっている。

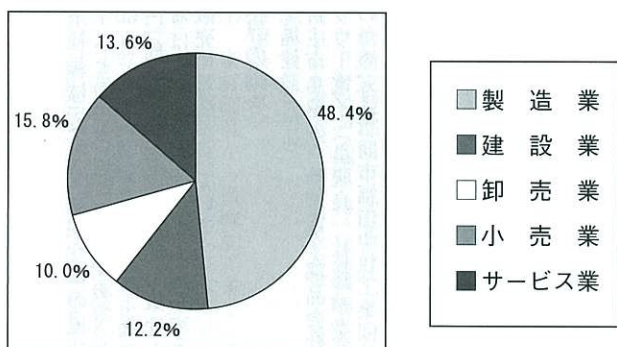
3ヶ月先見通しについては、業況DI値は-26.4で6.0ポイントのマイナス、売上高DI値は0.0で8.2ポイントのプラスの見通しとなっている。業種別の売上高では、クリーニングや自動車整備、情報サービス等で回復する見通しを示しているが、前年同月比で厳しい状況となったホテル・旅館では、見通しも下降傾向となっている。〔表8〕

| | 業況 前年同月比 | 売上高 前年同月比 | 業況 3ヶ月先 | 売上高 3ヶ月先 |
|----|-------------|--------------|------------|-------------|
| 7月 | -49.1 | -33.4 | -26.4 | 0.0 |
| 5月 | -42.9 | -26.5 | -20.4 | -8.2 |
| 3月 | -41.1 | -27.5 | -19.6 | -5.9 |

調査の概要 平成19年7月時点調査(郵送法)

調査対象 県内39業種 1,000社
有効回答企業 419社 (回答率41.9%)
業種内訳 製造業 203社 建設業 51社 卸売業 42社
小売業 66社 サービス業 57社

〔図2〕



建設業

前年同月比の業況DI値は-56.8で前回に比べ11.2ポイントのマイナス、売上高DI値も-41.2で10.8ポイントのマイナスとなっている。業種別に見ると総合建設及び種別工事では下降傾向となっており、特に種別工事は売上高の大幅な減少と収益の悪化で業況的にも厳しい状況となっている。設備工事も厳しい状況であるものの売上高は上昇傾向となっている。

3ヶ月先見通しについては、業況DI値は-49.1で7.8ポイントのマイナス、売上高DI値は-43.1で23.5ポイントの大幅なマイナスの見通しとなっている。業種別に見ると設備工事、種別工事ともに売上高で大幅に下降する見通しであり、特に設備工事においては収益、資金繰りでも大幅な下降傾向の見通しとなっている。〔表5〕

| | 業況 前年同月比 | 売上高 前年同月比 | 業況 3ヶ月先 | 売上高 3ヶ月先 |
|----|-------------|--------------|------------|-------------|
| 7月 | -56.8 | -41.2 | -49.1 | -43.1 |
| 5月 | -45.6 | -30.4 | -41.3 | -19.6 |
| 3月 | -39.6 | -45.9 | -58.3 | -54.2 |

卸売業

前年同月比の業況DI値は-54.7で前回に比べ25.1ポイントの大幅なマイナス、売上高DI値も-45.2で20.2ポイントの大幅なマイナスとなっている。業種別に見る売上高では、その他商品と機械器具が前回より大幅な下降傾向となっている。衣服では、売上高は前回に比べ回復はしているが、卸売業内では売上高DI値が一番悪く、販売価格、営業利益率等いずれも下降傾向を示している。

3ヶ月先見通しについては、業況DI値は-42.8で20.0ポイントの大幅なマイナス、売上高DI値も-31.0で35.5ポイントの大幅なマイナスの見通しとなっている。業種別に見ると、前年同月比で下降傾向とした機械器具は全体的に前回より回復する見通しとなっているが、衣服や食料品、その他商品においては前回調査より更に下降する見通しとなっている。〔表6〕

| | 業況 前年同月比 | 売上高 前年同月比 | 業況 3ヶ月先 | 売上高 3ヶ月先 |
|----|-------------|--------------|------------|-------------|
| 7月 | -54.7 | -45.2 | -42.8 | -31.0 |
| 5月 | -29.6 | -25.0 | -22.8 | 4.5 |
| 3月 | -32.6 | -9.3 | -23.2 | -4.7 |

小売業

前年同月比の業況DI値は-51.6で前回に比べ9.1ポイントのマイナス、売上高DI値は-36.4で0.6ポイントのプラスとなっている。業種別の売上高では百貨店・スーパーや飲食店で前回より大幅な上昇傾向を示したものの、飲食料品、家具・建具では下降傾向となっている。営業利益率では飲食店で上昇傾向となっているがその他小売では下